

学業のほか、デザインなどの仕事もこなす川合堯人君=亀山市の亀山高で

亀山高・川合君

HPデザイナーで起業

個人事業主 学業と両立へ

亀山高校システムメディア科三年の川合堯人(たかと)君(17)は、卒業後、事業を両立させ、卒業後は事業の飛躍を目指す。市が、同校で学んだコンピュータの知識を生かし、ホームページ(HP)制作を請け負う個人事業主になったという。

事業を起した。学業と卒業後、事業を両立させ、卒業後は事業の飛躍を目指す。市が、同校で学んだコンピュータの知識を生かし、ホームページ(HP)制作を請け負う個人事業主になったという。

小学生のころから親のパソコンで遊ぶことが好きだった。プログラミングを学ぶために亀山高の同科に進み、コンピュータシステムやソフトウェア開発の授業を受けながら、知合いのデザイン事務所でHP制作の仕事を手伝っていた。

起業は入学したときからの目標だった。「音楽や映像も好きで、そうしたものとパソコンを組み合わせて作ることができると考えた」という。

この夏から「システムメディア」という屋号で自分のHPを作り、仕事を受けている。放課後や休日に自宅で作業し、これまで鈴鹿市のバイク部品製造会社のHP制作やパソコンの維持修

理作業などをこなした。同校の古藤豊教諭(80)は「放課後によく授業の質問などをする生徒。パソコンの新技术への好奇心が強く、他の教科の成績も良い」と話す。卒業後、デザインの技術を磨きながら事業を営むことに決めた。川合君は「一進歩の早いコンピュータの世界で、夢は自分で全く新しいサービスを考えること」と目を輝かせている。

(中山岳)

色覚障害を擬似体験



県が24カ所に導入したパリアントール県庁で

眼鏡型機器 県が導入 パンプ作製に活用

県は、色覚障害の視覚を疑似体験できる眼鏡型「パリアントール」を全部局・県民センターの二十四カ所に導入した。色弱の人が見分けやすいように配慮する「カラーユニバーサルデザイン」の取り組みの一環。県が

県は、色覚障害の視覚を疑似体験できる眼鏡型「パリアントール」を全部局・県民センターの二十四カ所に導入した。色弱の人が見分けやすいように配慮する「カラーユニバーサルデザイン」の取り組みの一環。県が

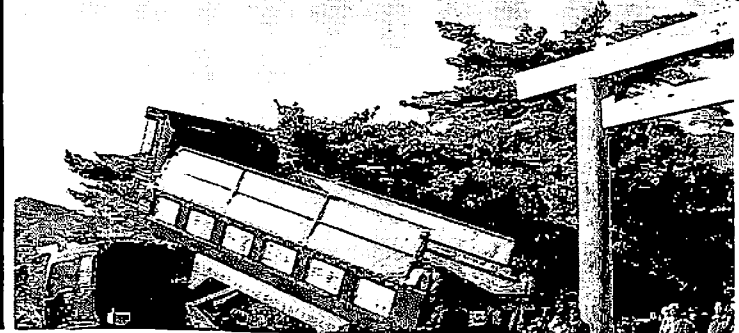
県地城福祉室によると、色弱の人は、男性で二十人に一人、女性で五百人に一人いると推定される。赤や緑色の区別が付きにくい。色分けした災害マップなどの地図やグラフが分かりにくい場合があるという。

県は、誰もが分かりやすい情報提供を目指す「県ユニバーサルデザイン」のまちづくり推計計画を七月にまとめている。七月から十月にかけて約二百人を対象に職員研修セミナーを開き、パリアントールを使って見え方の違いを学んだ。

各部署は今後、制作したパンフレットやポスターの校正が印刷会社から上がった時点で、パリアントールを掛けて見分けやすさを確認。色の組み合わせを工夫したり、作図に文字や境目を入れたりする。

(奥田哲平)

きょうの天気						度		
9日	6時	9	12	15	18	21	24	
四日市	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	20
津	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	20
伊賀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	20
伊勢	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	10
尾鷲	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀	10



伊勢神八日、鈴

には勉

楽しく脳を鍛えるリハビリを勧める永田博一さん
津市安濃町の介護老人保健施設「あろう」で

な崎2とを。長脳
宮務。とどた会と
と期待を「める。

おはようインタビュー



Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.

